



## ラテンアメリカ

ラテンアメリカの HIV の流行は概して安定しており、HIV 感染は現在でも主にセックスワーカーや MSM など最もリスクの高い集団に起こっている。2007 年に新たに HIV に感染した人々の数は推定 10 万人[4 万 7 千–22 万人]で、HIV 感染者数は 160 万人[140 万–190 万人]と推定される。過去 1 年間のエイズによる死亡者数は推定 5 万 8 千人である。

南米のボリビア、チリ、エクアドル、ペルー、そして中米のエルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマなどでは、男性間の無防備な性行為が HIV 感染の重要な要因となっている。

ブラジルはラテンアメリカの HIV 感染者の 3 分の 1 を抱える国である。2005 年、ブラジルの HIV 感染者数は推定 62 万人[37 万–100 万人]。初期には MSM に感染が集中していたが、時間とともに IDU に、そして徐々に一般人口に感染は広がり、女性の感染者も増加している (Dourade et al., 2007)。女性の HIV 感染は性行為の相手となる男性の行動によるところが大きいと推定される (Silva & Barone, 2006)。ただし、男性間の無防備な性行為が性感染の半分を占めていることには変わらない。ハームリダクション・プログラムや、薬物摂取の方法が吸引にかわったこと、IDU の死亡率などから、IDU の HIV 感染率が低下している都市もある (UNAIDS & WHO, 2006)。

近年、アルゼンチンでは無防備な性行為が主な HIV 感染経路になっている (Cohen, 2006)。2005 年には HIV 感染者の 5 分の 4 が、おもに異性間の無防備な性行為による感染だった (National AIDS Programme Argentina, 2005)。しかし、南米では MSM の間に高い HIV 感染率が認められる国々もある。清潔でない注射器具の使用や薬物注射は、過去には HIV 感染の重要な危険要因だった。2003 年から 2005 年に、首都ブエノスアイレスでは、新たな HIV 感染者のなかで薬物注射による感染が占める割合は 5%にとどまっていると推定される。

ウルグアイでは、HIV 感染は首都モンテビデオに集中しており、エイズ報告数の 4 分の 3 を占めている。他に HIV 感染が集中しているのは、カネロネス、マルドナド、リベラ地区である。おもに異性間の無防備な性行為が HIV 感染報告数のほぼ 3 分の 2 を占めている。加えて、男性間の安全でない性行為と、清潔でない注射器具を用いた薬物注射が HIV 感染の大きな原因である (Montano et al., 2005; National AIDS Program Uruguay, 2007; IDES et al., 2005)。

パラグアイでは、HIV 感染は首都アスンシオン、セントラル県、アルゼンチンとブラジルの国境近くのいくつかの地域に集中している (National AIDS Program Paraguay, 2007)。2005 年末現在、HIV 感染者の大半が男性である。妊婦の HIV 感染率の全国平均は 2005 年現在、0.3% だった (National AIDS Program Paraguay, 2006)。

ボリビア、チリ、コロンビア、エクアドル、ペルーでは、HIV 感染は MSM に集中している (Martinez, Elea, Chiu, 2006; Ministerio de Salud y Deportes, ONUSIDA, 2007a,b)。

ペルーの HIV 感染率は低く、特定の人口集団に集中していると推定される。1996 年から 2002 年にかけて行われたいくつかの調査から、MSM の感染率は現在も 18–22% であることがわかっている (Sanchez et al., 2007; Ministerio de Salud de Peru, 2006)。

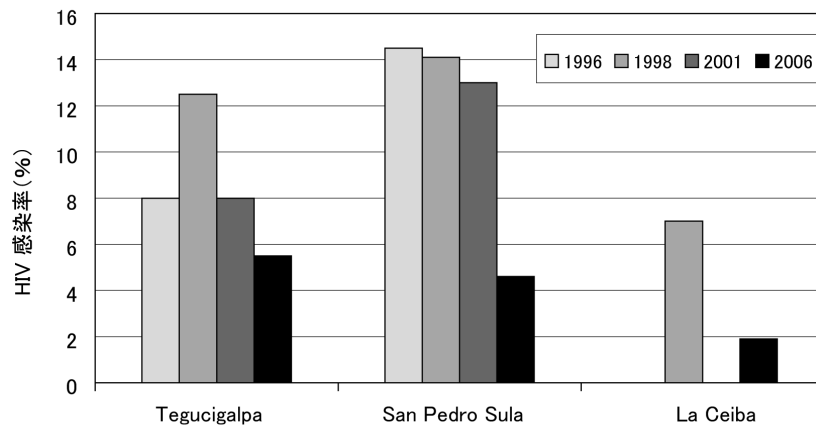
根強いホモフォビア (同性愛嫌悪) を背景に、ベリーズ、コスタリカ、エルサルバドル、グアテマラ、ニカラグア、パナマなどの中米諸国では、MSM の HIV 感染率が高い。成人一般人口の HIV 感染率と比較すると、MSM の陽性率は、ホンジュラスでは 7 倍、グアテマラとパナマでは 10 倍、エルサルバドルでは 22 倍、ニカラグアでは 38 倍も高い (Soto et al., 2007)。

女性セックスワーカーの HIV 感染率も高く、ホンジュラスでは 10%、グアテマラでは 4%、エルサルバドルでは 3% である。しかし、ニカラグアとパナマでは 0.2% と低い (Soto et al., 2007)。

最近の HIV 動向調査から、ホンジュラスの HIV 感染に関する情報が得られた。これによれば、HIV 感染は主に安全でない買春と男性間の無防備な性行為によって起こっていることがわかった (Ministry of Health Honduras, 2006)。しかし、これらの人口集団の HIV 感染率が低下傾向にあることや、コンドームの使用が増えているというエビデンスもある (Secretaria de Salud de Honduras et al., 2007a, b)。2006 年の調査の予備的所見によれば、テグシガルパの MSM の HIV 感染率は 5.7% (2001 年は 8.2%、1998 年は 10%)、サンペドロスラで 9.7% (2001 年は 16%) と低下傾向にある (Secretaria de Salud de Honduras et al., 2007b)。女性セックスワーカーの HIV 感染率の急激な低下もホンジュラスの 3 つの都市で見られる (図 14)。これらの 3 都市の女性セックスワーカーが過去 30 日間にコンドームを使用した割合も高く、テグシガルパとサンペドロスラでは 80% 以上、ラセイバデは客に対しては 98%、不特定の性行為の相手に対しては 87% 以上だった。このことから、コンドーム使用奨励策とその他の予防対策が成功を収めたことがわかる (Secretaria de Salud Honduras, 2007a)。

図 14

各都市における女性セックスワーカーの HIV 感染率 (ホンジュラス, 1996-2006年)



Source: Secretaria de salud de Honduras et al. (2007). Estudio Centroamericano de vigilancia de comportamiento sexual y prevalencia de VIH/ITS en poblaciones vulnerables: Trabajadoras Sexuales. Agosto. Tegucigalpa, Secretaria de salud de Honduras.